

令和4年9月1日

東横野幼稚園
保護者 様

東横野幼稚園
園長 石井 晴美

災害発生時(大震災を想定)の対応について

今日は9月1日、関東大震災にちなんだ「防災の日」です。南海トラフ巨大地震の発生が懸念されている昨今、安中市教育委員会では、**震度5弱以上の地震発生を想定**し、学校における基本的な対応を各家庭に周知しています。

東横野幼稚園では、**下記のように策定した災害発生時の対応を行います**ので、各家庭でご確認いただき、ご配慮方よろしくお願いいたします。

記

1 甚大な被害を伴う災害が発生した場合

○東横野幼稚園は建設時から耐震設計がなされている園舎であるため、震度5以上の大規模な地震等が発生した場合、グランドへの一時避難後、**園舎に戻って保護者のお迎えを待ちます。**

(安中市の防災計画では、幼稚園所在地の避難場所は、東横野公民館や小学校に指定されています。しかし、一般の住民が多数避難してくることが予想され、数十名もの園児が大勢に交じって一時避難するのは極めて難しいと考えられます。トイレも幼児に使いやすい物は少ない上、シャワー施設もないため、普段生活している保育室で過ごすほうが、子どもたちの安全確保や心理的安定により適していると判断しました)

○東日本大震災時では、電力が緊急停止してしばらく復旧しない事態が発生しました。大規模な災害が発生した場合、電話連絡や一斉メール発信ができないことを想定しています。その場合でも、**最後の園児が保護者の手に渡るまでは教職員がしっかり付き添っていますので、安心していただき、無理のない方法でお迎えにおいでください。**

○園バスの運行については、小規模な災害の場合には通常どおり運行し、お子さんを所定の場所にお届けします。電力が遮断され信号機が機能しない等、甚大な被害が発生している場合には、園バスは運行しません。送迎中に発生した場合には、できる限り園に戻ることを原則とします。

○預かり保育でお預かりしている園児も上記と同様の対応を行います。

○登園前に、**震度5弱以上の地震が発生し、緊急連絡ができない場合は休園**となります。園バスも運行しません。あらかじめご了承ください。

2 本園の防災に対する今後の対応

○コロナ対応により、集団で行う避難訓練は控えていましたが、令和4年度より、3密を避けつつ実践的な避難訓練を実施しています。

○本園では、若干の防災用品をストックしていますが、水や食料、冬季の暖房等、園児すべてに行き渡るだけの量は用意しきれていないのが現状です。保育中での災害発生に備えて、保護者のお迎えを待つ間に園児たちが安心して過ごせるよう、各種防災備品の確保を鋭意進めているところです。

(参考)

安中市災害対応ガイドブック



指定緊急避難場所一覧

